



2 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	春口	参加 メンバー	CL: 亀山、SL: 吉田 (明) 小田、春口
		報告日	03 / 13		
山 域	南信州	山行日	13 年 02 月 16 日 (土) ~		
山 名	恵那山		13 年 02 月 17 日 (日)		

山行目的	恵那山未踏ルートを楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)	
配布先	ルート図 (地図を見て正確に)	2/16 (土) 晴れ	2/17 (日) 晴れ
集会: 12		6:20 刈谷発	4:00 起床 & 朝食
山行: 1		7:50 園原 IC 着	7:00 テント場発
リーダー		8:40 戸沢 P 発	8:05 恵那山 山頂着
原紙: 集会担当者		10:10 一本	9:30 一本 (神坂ルート分岐)
		11:30 わかん装着	10:40 一本
		14:20 一本	12:20 一本
		15:05 テント場着 (1992m)	13:00 大判山 山頂着
		18:00 夕食	14:15 一本 (本谷川出合)
		21:00 就寝	14:25 わかん取外 (広河原)
			15:10 一本 (臨時 P 前)
			15:45 戸沢 P 着
			16:20-17:30 昼神温泉
			19:00 刈谷着
		2.5 万分の 1 地図:	

山行報告 早朝、本社 N1 駐車場に今回の男メンバー4人が集合し、亀山 VOXY で出発。8:00 に戸沢の駐車場 (空き地) に着き、登山準備を始めた。自分は、今回用意した my ザック (110L) に共同装備を多めに詰め込み、準備完了。今回は恵那山未踏ルート (戸沢ルート) ということで、登山口の看板も無い場所から、登山開始。前日の雪で、辺り一面新雪が積もり積もっていた。途中でわかんを装着。自分は初のわかん & ラッセルを体感しながら、先輩方の後を付いて行くが、足場が崩れて思うように進めず...。スピードを意識してがむしゃらに進もうとした結果、体力がひどく消耗...。ラッセルを行う際、メンバーが交代で先頭を務めるというルールを知り、自分も先頭に立つが一向に進まず、日が暮れそうだったので先輩へバトンタッチ。列の後ろで、教わったラッセルのコツを思い出しながら実践練習を繰り返した。その後、恵那山山頂に差し掛かった矢先、自身の足がふらつき始め、優しい亀山 CL の判断でその場にテントを準備。テントではすぐに暖を取り、各自で酒やつまみを食べた後、小田さんの絶妙な炊き加減で出来たごはんを、レトルトの具材を掛けおいしく頂いた。その後、周辺には4人以外誰もいないという独特の雰囲気と静けさを味わいながら、談笑して就寝。翌日 4:00 に起床し、朝ラーメンを食べた後、素早くテントの片付けを行った。そして再び歩き始め、無事に恵那山山頂に到着。針葉樹に邪魔され、眺めはあまり良くなかった

確認 (リーダー)	亀	13/03/11	山	作成 (報告者)	春	13/03/07	□
<p>フリースペース 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に</p>				<p>恵那山山頂にて</p> 			
<p>山行報告 早朝、本社 N1 駐車場に今回の男メンバー4人が集合し、亀山 VOXY で出発。8:00 に戸沢の駐車場 (空き地) に着き、登山準備を始めた。自分は、今回用意した my ザック (110L) に共同装備を多めに詰め込み、準備完了。今回は恵那山未踏ルート (戸沢ルート) ということで、登山口の看板も無い場所から、登山開始。前日の雪で、辺り一面新雪が積もり積もっていた。途中でわかんを装着。自分は初のわかん & ラッセルを体感しながら、先輩方の後を付いて行くが、足場が崩れて思うように進めず...。スピードを意識してがむしゃらに進もうとした結果、体力がひどく消耗...。ラッセルを行う際、メンバーが交代で先頭を務めるというルールを知り、自分も先頭に立つが一向に進まず、日が暮れそうだったので先輩へバトンタッチ。列の後ろで、教わったラッセルのコツを思い出しながら実践練習を繰り返した。その後、恵那山山頂に差し掛かった矢先、自身の足がふらつき始め、優しい亀山 CL の判断でその場にテントを準備。テントではすぐに暖を取り、各自で酒やつまみを食べた後、小田さんの絶妙な炊き加減で出来たごはんを、レトルトの具材を掛けおいしく頂いた。その後、周辺には4人以外誰もいないという独特の雰囲気と静けさを味わいながら、談笑して就寝。翌日 4:00 に起床し、朝ラーメンを食べた後、素早くテントの片付けを行った。そして再び歩き始め、無事に恵那山山頂に到着。針葉樹に邪魔され、眺めはあまり良くなかった</p>							
<p>が、少し進んだ場所では南アルプス等が一望出来て、気分爽快。その後、大判山へと縦走。急斜面ではロープを使って安全に進み、8の字結びやアンザイレン等を学習した。大判山山頂に到着後、下山。傾斜が急で滑りまくったが、周りの藪に助けられ何とか広河原へ。疲労困憊する中、戸沢 P まで歩いて昼神温泉へ。先輩方の体力 & 読図能力に感服しながら、自身は修練を積む必要があると感じた山行だった...</p>				<p>リーダー所見 恵那山の積雪期縦走を実施するも直前の降雪と体力不足により計画の富士見台高原経由は断念! しかしエスケープルートとして予定していた大判山東ルート (仮称) の下降では Y 君・O 君が読図をしっかりと行い正確に下降でき、読図力のスキルアップと楽しさを体感したと思う。私も資料のないルート歩きができ、充実した楽しい山行となりました。メンバーと山たちに感謝</p>			